



■ふたりの異邦人 久米小百合（久保田早紀）著 久米小百合自伝

あの日があり、今がある

名曲「異邦人」の伝説の歌姫、久保田早紀。芸能界を引退後、キリスト教の伝導者となり久米小百合として活動する。著者が、「異邦人」発売40周年の節目に語る音楽と人生。



■エマオへの道で 寺西英夫 著 主日の福音・説教集

福音の説き明かしの中にキリストがよみがえる。



■いのちに仕える「私のイエス」 星野正道 著

復活したキリストは、あなたを通して人々と出会い働きかけていく遠藤周作「侍」を読みながら、ともに歩み、仕える神と出会う。

■癒し 越前喜六 編著

あなたは信仰によって癒される。神の愛に触れ、心が愛で満たされる。身体・精神・心・魂の癒しを求めて。



■始まりのことはば 聖書と共に歩む日々366

片柳弘史著

聖書を読んでみたいけど、全部はちょっと難しい
そんなあなたに神父が贈る366の言葉

■教皇フランシスコ 講和集5 教皇フランシスコ著 カトリック中央協議会事務局編

わたしたちの信仰の光は、手渡すことでいっそう強まります。

偏見や利己心といった偽りの光を捨て、イエスが与えてくださるまことの光の中を歩み、光の子として生きるようにとの導き。



■修道院の風 原造 著

若者に勇気を、せわしく不安な暮らしに愛を 疲れた心に安らぎを
競争社会の真ただ中から、隠れた修道生活へ。

祈りの日々、折にふれて綴った随想集

■ともにあり続けること 堂園晴彦 著

マザーテレサの生き方に共鳴し、在宅ホスピスのパイオニアとして、がん患者さんとともにあり続ける一臨床医。

